

板橋区肢体不自由児者父母の会

1 団体の活動状況

- ・昭和33年に3月に設立。区内在住の肢体不自由児者をもつ父母の情報の共有共感、地域でより良い生活が送れるよう福祉の向上増進、障がい福祉の社会啓発のため発足し、現在に至る。

主な活動は、年4回の定例会、関係各所への要望活動、レクリエーション事業、二十歳のお祝い会及び新年お祝い会等を行っている。

- ・会員数⇒令和6年4月1日現在97名

2 現在の支援体制について感じること

- ・医療的ケアを必要とする障がい児に関しては、近年支援体制、通学保障などが整ってきているが、卒業の際に、進路先などの門が狭くなり、選択肢がなくなってしまう。

切れ目のない支援体制が途切れてしまう状況である。

- ・通院など小児科から内科、成人への医療の移行の壁が出てくる。

3 重症心身、医療的ケア児の切れ目のない支援体制に必要なこと（課題）

- ・通所施設、短期入所施設など地域の中での医療との連携、重心・医ケア施設での看護師人材など安定した運営。

4 他の団体との連携

- ・上部団体、東京都肢体不自由児者父母の会連合会・全国肢体不自由児者父母の会連合会との連携
- ・地域の中での関係各所との連携活動